



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

コード番号 2222 URL <http://www.okashinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,699	3.7	1,279	2.5	1,243	△5.1	611	△5.2
23年3月期第3四半期	14,169	0.4	1,248	△12.8	1,310	△10.3	644	△18.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 622百万円 (0.3%) 23年3月期第3四半期 620百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	58.92	—
23年3月期第3四半期	62.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	13,649	6,136	45.0	591.57
23年3月期	12,316	5,774	46.9	556.61

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,136百万円 23年3月期 5,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,850	2.3	1,320	5.2	1,300	△1.1	670	15.5	64.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,373,840 株	23年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	347 株	23年3月期	229 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,373,564 株	23年3月期3Q	10,373,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響による自粛ムードは薄らぎ、消費マインドは徐々に回復の兆しが見られるものの、消費者の節約志向の浸透などにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、経営理念の具現化に向け『熱狂的ファン創り』の徹底実践と強固な経営基盤の構築に向け『新成長エンジン創り』をテーマに、具体的対策に落とし込み、刻々変化する市場動向と顧客ニーズを的確に捉えながら、全従業員の総力を結集し、積極果断に事業施策を推進いたしました。

業績面は、期初であります4月が、震災の影響を大きく受け、大幅な減収・減益を余儀なくされた一方、5月以降は、新規出店及び新商品の投入、販促活動の強化など早期の業績回復に向けた事業施策の積極展開により、回復基調で推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,699百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は1,279百万円（前年同期比2.5%増）となりました。一方、経常利益は、受取地代家賃の減少及び破産更生債権等に対する貸倒引当金繰入額の計上などにより1,243百万円（前年同期比5.1%減）、四半期純利益は、法人税法等の改正に伴う見積実効税率の変更などにより法人税等が増加し611百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

なお、当社グループは、東京市場の事業の再構築を図るため、平成23年12月15日をもって子会社である株式会社シュクレイ（東京都港区）を設立（当社100%出資）いたしました。当該子会社は、平成24年1月31日をもって解散した製造子会社である株式会社つきじちとせより事業の一部を譲受け、平成24年2月1日より菓子の販売事業を開始いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、新規出店では平成23年5月に小樽市で6店舗目となる大型新店舗「パトス」、7月には新千歳空港店をオープンしました。また、プロモーション展開では、有名タレントを起用したテレビCMの放映、テレビ番組との共同開発企画などを推進いたしました。商品面では新商品「シンデレラデフロマージュ」、「ルタオプレミアまあある」を投入し、通販企画の充実など様々な対策強化に取り組みました。また、11月に紹介されたテレビ放映効果も寄与しクリスマス商戦が好調に推移いたしました。その結果、売上高は5,418百万円（前年同期比8.5%増）と前年同期を上回った一方、営業利益は新規出店の初期費用や販促費用が増加したことなどにより484百万円（前年同期比11.8%減）と前年同期を下回りました。

なお、9月に札幌三越店及びアマイワナ店を退店いたしました。

② 寿製菓

寿製菓は、関東圏の代理店向け売上が低迷した一方、地元山陰地区では「白ウサギフィナンシェ」がPR展開により続伸し、また、「ラングドシャ」ライン商品を中心にグループ向け売上が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は5,235百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は428百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

③ 販売子会社（11社）

販売子会社（11社）は、交通機関市場を中心に販売強化に努め、名古屋地区での新商品「小倉トーストラングドシャ」、関西地区でのコンディトライ神戸の生ギフト展開、宮崎地区での「宮崎マンゴーラングドシャ」などが堅調に推移した結果、売上高は3,238百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は177百万円（前年同期比52.9%増）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、直営店舗「グランマーケット店」の退店（平成23年5月）に伴う売上減少要因があった一方、主力商品のPR展開や新商品「博多創菓子 はかたんもん」の拡販などに努めた結果、売上高は2,225百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益139百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、震災の影響による期初の売上高の落ち込みや黒豆茶通販が低調に推移した結果、売上高は776百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は55百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

⑥ つきじちとせ

つきじちとせは、早期の業績回復を目指すべく、平成23年6月に「東京ミルクチーズ工場」及び「コートケールシュクレ」の2つの洋菓子系ブランドを新たに立上げ、羽田空港催事の強化に努めました。また、新規出店では、8月にルミネ新宿店、10月にルミネ有楽町店、12月には東京駅に出店し、売上拡大に取り組みました。その結果、売上高は615百万円（前年同期比28.1%増）、営業利益は2百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業が含まれております。売上高は3百万円（前年同期比14.9%減）となり、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,332百万円増加し、13,649百万円となりました。流動資産は5,999百万円となり、1,118百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加(251百万円)、季節変動要因による受取手形及び売掛金の増加(651百万円)、商品及び製品の増加(126百万円)などによるものです。固定資産は7,649百万円となり、214百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産において、減価償却費計上による減少(394百万円)があった一方、新店舗出店などの設備投資(575百万円)を実施したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ970百万円増加し7,512百万円となりました。流動負債は5,210百万円となり649百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加(347百万円)、短期借入金の増加(300百万円)による増加要因と1年内返済予定の長期借入金の減少(139百万円)の減少要因によるものです。固定負債は2,302百万円となり320百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加(343百万円)によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ362百万円増加し、6,136百万円となりました。主な要因は、四半期純利益(611百万円)の計上による増加、配当金の支払い(259百万円)による減少などです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9ポイント減少し、45.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、引続き厳しい経営環境が続くものと予想されますが第3四半期累計期間の業績が、概ね公表予想数値の範囲内での進捗で推移しており、平成23年11月2日発表(「業績予想の修正に関するお知らせ」)からの変更はありません。

なお、通期業績予想は、売上高は18,850百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益1,320百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益1,300百万円(前年同期比1.1%減)、当期純利益670百万円(前年同期比15.5%増)を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,067,291	2,318,931
受取手形及び売掛金	1,718,193	2,369,969
商品及び製品	434,018	560,228
仕掛品	23,784	37,616
原材料及び貯蔵品	311,531	387,435
その他	342,959	331,349
貸倒引当金	△15,957	△5,595
流動資産合計	4,881,819	5,999,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,008,182	3,147,322
機械装置及び運搬具（純額）	505,174	502,123
工具、器具及び備品（純額）	172,015	221,283
土地	2,571,639	2,571,639
リース資産（純額）	67,687	56,177
建設仮勘定	5,886	1,067
有形固定資産合計	6,330,583	6,499,611
無形固定資産	122,646	115,281
投資その他の資産		
その他	1,033,736	1,153,883
貸倒引当金	△52,192	△119,342
投資その他の資産合計	981,544	1,034,541
固定資産合計	7,434,773	7,649,433
資産合計	12,316,592	13,649,366
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,372	956,896
短期借入金	2,100,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	685,898	545,998
未払法人税等	202,957	296,015
賞与引当金	358,631	183,847
その他	603,609	827,390
流動負債合計	4,560,467	5,210,146
固定負債		
長期借入金	913,735	1,256,794
退職給付引当金	717,011	734,782
役員退職慰労引当金	120,638	93,339
その他	230,736	217,611
固定負債合計	1,982,120	2,302,526
負債合計	6,542,587	7,512,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	3,243,333	3,595,245
自己株式	△239	△313
株主資本合計	5,784,055	6,135,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,050	801
その他の包括利益累計額合計	△10,050	801
純資産合計	5,774,005	6,136,694
負債純資産合計	12,316,592	13,649,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	14,169,948	14,699,675
売上原価	7,221,874	7,314,862
売上総利益	6,948,074	7,384,813
販売費及び一般管理費	5,699,423	6,104,894
営業利益	1,248,651	1,279,919
営業外収益		
受取利息	637	336
受取配当金	2,745	2,762
受取地代家賃	54,870	14,790
違約金収入	25,000	—
その他	20,860	27,354
営業外収益合計	104,112	45,242
営業外費用		
支払利息	39,876	34,570
貸倒引当金繰入額	—	40,450
その他	2,506	7,040
営業外費用合計	42,382	82,060
経常利益	1,310,381	1,243,101
特別利益		
固定資産売却益	—	247
特別利益合計	—	247
特別損失		
固定資産売却損	36	67
固定資産除却損	4,601	12,745
投資有価証券評価損	—	30,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,357	—
特別損失合計	53,994	43,270
税金等調整前四半期純利益	1,256,387	1,200,078
法人税等	611,699	588,826
少数株主損益調整前四半期純利益	644,688	611,252
四半期純利益	644,688	611,252

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	644,688	611,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,190	10,851
その他の包括利益合計	△24,190	10,851
四半期包括利益	620,498	622,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620,498	622,103

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社 (11社)	九十九島 グループ	但馬寿	つきじ ちとせ	計
売上高							
外部顧客への売上高	4,578,196	3,687,223	3,087,881	2,085,527	265,593	461,985	14,166,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	417,305	1,448,565	469	203,132	551,699	18,339	2,639,509
計	4,995,501	5,135,788	3,088,350	2,288,659	817,292	480,324	16,805,914
セグメント利益 (△は損失)	549,202	386,824	116,119	136,688	74,066	△37,524	1,225,375

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	3,543	14,169,948	—	14,169,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,639,509	△2,639,509	—
計	3,543	16,809,457	△2,639,509	14,169,948
セグメント利益 (△は損失)	377	1,225,752	22,899	1,248,651

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額22,899千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額315,613千円、セグメント間取引消去額9,686千円、たな卸資産の調整額△23,258千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,142千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社 (11社)	九十九島 グループ	但馬寿	つきじ ちとせ	計
売上高							
外部顧客への売上高	5,017,963	3,623,051	3,237,916	1,980,347	254,488	582,896	14,696,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	400,683	1,612,105	446	244,868	521,760	32,364	2,812,226
計	5,418,646	5,235,156	3,238,362	2,225,215	776,248	615,260	17,508,887
セグメント利益 (△は損失)	484,143	428,399	177,580	139,884	55,497	2,320	1,287,823

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	3,014	14,699,675	—	14,699,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,812,226	△2,812,226	—
計	3,014	17,511,901	△2,812,226	14,699,675
セグメント利益 (△は損失)	△199	1,287,624	△7,705	1,279,919

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益（△は損失）の調整額△7,705千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額370,372千円、セグメント間取引消去額10,084千円、たな卸資産の調整額△21,970千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△366,191千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益（△は損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。